

令和5年度

見積用

上美生集落排水施設維持管理適正化計画策定委託

業 務 委 託 設 計 書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

都 道 府 県 名
地 区 名 体
事 業 主 体

北 海 道
芽 室 町

委託設計説明書

1. 委託名称 上美生集落排水施設維持管理適正化計画策定委託
2. 委託概要 維持管理適正化計画策定 一式
3. 委託期間 令和5年6月12日 ～ 令和6年2月20日
4. 仕様書 別紙参照

令和 5 年度

上美生集落排水施設維持管理適正化計画策定委託

仕 様 書

芽室町水道課

1. 総則 別紙のとおり
2. 仕様書 北海道農政部制定「調査測量設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）のうち、別表「適用共通仕様書」によるほか、別添特記仕様書による。
3. その他 この仕様書は、設計変更の都度、増廃又は追補する。

連絡先 河西郡芽室町東2条2丁目14番地

芽室町役場 水道課 下水道工務係

TEL (0155) 62-9727

FAX (0155) 62-4599

1. 総 則

(1) 業務の名称

上美生集落排水施設維持管理適正化計画策定委託

(2) 業務の場所

芽室町 上美生

(3) 業務の目的

上美生集落排水施設に係る維持管理適正化計画策定を行うものである

(4) 業務の概要

維持管理適正化計画策定 一式

(5) 業務対象施設

地区名	処理区名	計画人口	処理方式	供用開始	備 考
芽室	芽室	200 人	FRP 製浄化槽 (担体流動ろ過方式)	S53.6	※

※H10、R4 機能強化

(6) 業務期間

令和5年6月12日～令和6年2月20日

2. 適用共通仕様書

本工事に適用する「適用共通仕様書」は下表のとおり。
なお、該当仕様書には○印を付す。

区 分	仕様書 番号	仕様書名	適用 仕様書	備考
共通	1 章	総則	○	

上美生集落排水施設維持管理適正化計画策定委託特記仕様書

1 適用範囲

本委託業務は、契約書並びに農業集落排水施設維持管理適正化計画作成の手引き(案)によるほか、この仕様書に基づき実施するものとする。

2 目的

本業務は、芽室町の管理する農業集落排水施設の現状を踏まえ、汚水処理対象人口の変化、施設の運用・維持管理の状況、汚水処理(水質)の状況など、処理区全体の状況を多角的に捉えたうえで、施設の再編・集約、最適な施設規模や処理方式の検討、省エネルギー技術や遠隔監視システム等の先進的技術の導入、汚泥処理の効率化、包括的民間委託等の民間活力の活用など、維持管理の効率化・適正化に向けた対策を総合的に検討するものである。

3 場所

本業務の対象とする施設の場所は、芽室町 芽室地区内の集落排水区域である。

4 対象施設

本業務の対象施設は、次のとおり。

(対象地区)

地区名	処理区名	計画人口	建設時期	備考
芽室	芽室	200人	R2~R4	

5 一般事項

- (1) 現地調査のため、公有・私有の土地に入る場合は、事前に業務担当員と密なる連絡・日程調整等を行い指示を受けるものとする。但し、補償等を生じた場合は、指示がない限り受託者の負担とする。
- (2) 業務施工中に受託者は、地元関係者との摩擦を起こさない様に留意すること。仮に、事態が生じた場合は、受託者の責任において処理をしなければならない。
- (3) 本仕様書に示されていない事項、その他不明等の疑義が生じた場合は、予め業務担当員の指示を受けるものとする。
- (4) 契約書及び本仕様書は業務の主要事項のみを示したものであり、ここに規定されていない事項にあっても当然必要と認められるものについては、受託者は責任を持って充足しなければならない。
- (5) 受託者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても業務担当員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。
- (6) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合、業務担当員と協議をする。

6 適用する図書

本業務の適用図書は、次の各項によるものとする。他の図書を適用する場合は業務担当員の承諾を得るものとする。尚、いずれも最新版のものとする。

- (1) 農業集落排水施設設計指針
- (2) 農業集落排水施設維持管理適正化計画作成の手引き(案)
- (3) 農業集落排水施設のコンクリート劣化点検・診断・補修の手引き(案)
- (4) 農業集落排水施設の更新整備に関する技術指針(案)
- (5) 農業集落排水施設再編計画作成の手引き(案)
- (6) 農業集落排水施設の更新整備における省エネ技術導入マニュアル

7 貸与資料

委託者は業務の委託にあたり、受託者に次の資料を提示する。

なお、これ以外に必要な資料については、受託者は委託者と協議する。

- (1) 集排マップ(全体構想図)
- (2) 事業計画概要書および関係資料
- (3) 一般計画平面図(管路計画図)
- (4) 管路施設台帳
- (5) 人口統計、集落排水事業実施状況、汚水処理施設再編計画、放流水質規制、機能診断結果、最適整備構想等の資料
- (6) 市町村マスタープラン等の人口推計を行っている資料、若しくは過去10年間の人口統計資料
- (7) 水洗化率・汚水処理整備状況等の資料
- (8) 過去5年間の維持管理費、使用料収入、保守点検実施者の履歴
- (9) 直近の保守点検記録(1年間)
- (10) 過去5年間の流入汚水量(日当たり)、流入汚水及び処理水等の水質データ、汚泥搬出量(月別)
- (11) 主な機器の納入仕様書、納入仕様図のコピー、若しくは機械電気完成図書
- (12) 主な機器の故障及び補修履歴並びに浸水等の被災記録
- (13) その他関係資料

8 参考図書及び貸与資料の取扱い

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合や解釈に疑義が生じた場合は、業務担当員と協議をすること。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用いるが。設計作業中に改定された場合は、業務担当員と協議をするものとする。
- (3) 貸与資料は、業務担当員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納をしなければならない。

9 作業内容

この業務は「農業集落排水施設維持管理適正化計画作成の手引き（案）」を参照に次の項目を実施する。

項 目	内 容
1 維持管理適正化計画作成 (1) 施設調査	(1) 現況の汚水処理施設及び維持管理状況の調査 1) 現況汚水処理施設調査 (処理水質、劣化進捗) 2) 維持管理状況調査 (運転管理、維持管理) 【維持管理の課題】 (流入汚水量、処理水質、運転時間、腐食劣化、 汚泥処理の課題等)
(2) 省エネ技術等の新技術 等の導入の検討	1) 現状施設の使用機器・運転手法の把握 2) 導入可能な省エネ技術の抽出 3) 省エネ技術の効果検討
(3) 維持管理適正化対策の 作成	(1)～(4)の検討結果から、対策内容、対策時期、 対策概算費用、効率化・適正化の内容を取りまとめる。

10 打合せ協議

「業務着手時」、「中間打合せ（1回）」、「成果品納入時」の3回を標準とし、中間打合せ回数の変更が必要な場合は別途協議する。

11 成果品

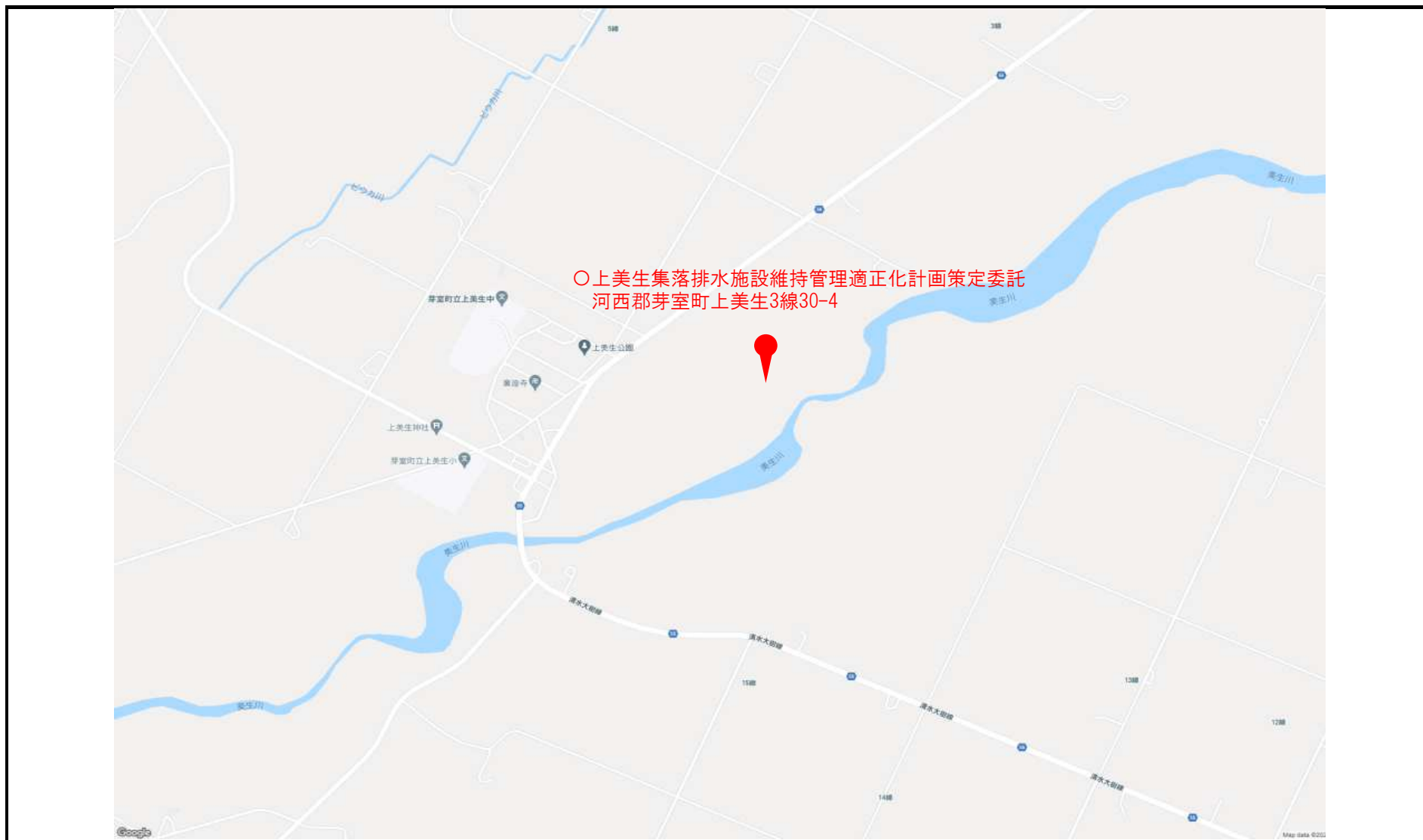
成果品は次のとおり。

- ・維持管理適正化計画策定支援業務報告書 A 4 2部
- ・上記電子データ（CD又はDVD） 1部

12 その他

この仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて、業務担当者と協議をするものとする。

位置図



北海道河西郡芽室町

Google Maps (許諾番号 Z15DL第1243号)、地理院地図 (承認番号 平27情複、第93号) 三者へ配布する場合、必ず上記の各番号を併記してください。また、外部公表資料として利用する場合、別途申請が必要となります。

全体配置平面図

S=1:100

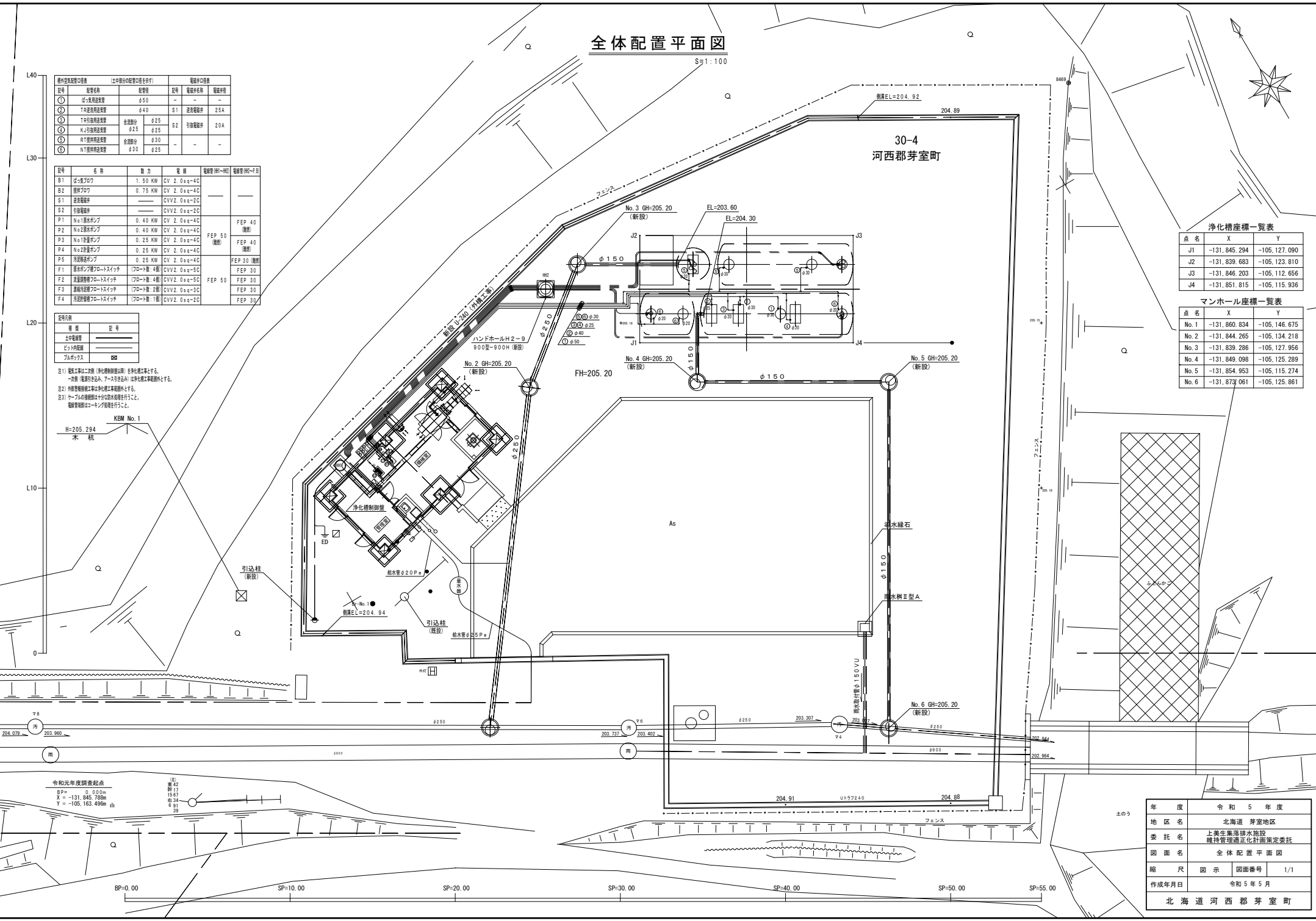


番号	配管名称	管径	材質	接続	電圧
①	ばっ水用配管	φ50	-	-	-
②	T弁用配管	φ40	S11	逆止電磁弁	25A
③	T弁用配管	φ25	S2	逆止電磁弁	20A
④	K弁用配管	φ25	-	-	-
⑤	R弁用配管	φ30	-	-	-
⑥	N弁用配管	φ25	-	-	-

名称	名称	動力	電線	電線管(内径)	電線管(外径)
B1	ポンプ	1.50 KW	CV 2.0sa-4C	-	-
B2	ポンプ	0.75 KW	CV 2.0sa-4C	-	-
S1	逆止電磁弁	-	CVV2.0sa-2C	-	-
S2	逆止電磁弁	-	CVV2.0sa-2C	-	-
P1	No.1ポンプ	0.40 KW	CV 2.0sa-4C	FEP 50	FEP 40
P2	No.2ポンプ	0.40 KW	CV 2.0sa-4C	FEP 50	FEP 40
P3	No.1ポンプ	0.25 KW	CV 2.0sa-4C	FEP 50	FEP 30
P4	No.2ポンプ	0.25 KW	CV 2.0sa-4C	FEP 50	FEP 30
P5	汚濁ポンプ	0.25 KW	CV 2.0sa-4C	FEP 50	FEP 30
F1	ポンプ用フロースイッチ	7Dcm×4層	CVV2.0sa-5C	FEP 50	FEP 30
F2	汚濁ポンプ用フロースイッチ	7Dcm×4層	CVV2.0sa-5C	FEP 50	FEP 30
F3	汚濁ポンプ用フロースイッチ	7Dcm×2層	CVV2.0sa-3C	FEP 50	FEP 30
F4	汚濁ポンプ用フロースイッチ	7Dcm×1層	CVV2.0sa-2C	FEP 50	FEP 30

種類	記号
土中電線管	□
引込管	○
マンホール	○
バルブボックス	□

注1) 電線工事は二次側(浄化槽制御室)を基本とし、一次側(電線管)は浄化槽工事範囲とする。
 注2) 汚濁ポンプ用フロースイッチは浄化槽工事範囲とする。
 注3) ケーブルの埋設は十分な防水処理を行うこと。
 電線管埋設はコンクリート埋設を行うこと。



点名	X	Y
J1	-131,845,294	-105,127,090
J2	-131,839,683	-105,123,810
J3	-131,846,203	-105,112,656
J4	-131,851,815	-105,115,936

点名	X	Y
No.1	-131,860,834	-105,146,675
No.2	-131,844,265	-105,134,218
No.3	-131,839,286	-105,127,956
No.4	-131,849,098	-105,125,289
No.5	-131,854,953	-105,115,274
No.6	-131,873,061	-105,125,861

令和元年度調査起点
 B.P. = 0.00m
 X = -131,845,750m
 Y = -105,163,490m

年度	令和5年度
地区名	北海道 芽室地区
委託名	上栗生集落排水施設 維持管理適正化計画策定委託
図面名	全体配置平面図
縮尺	図示 図面番号 1/1
作成年月日	令和5年5月
北海道 河西郡 芽室町	

(予算内訳書番号 1)

維持管理適正化計画策定

予算内訳書

一金 円也

但し 打合せ 3回 (初回、中間、最終)

名称	形状・寸法	員数	単位	単価	金額	内訳書番号	摘要
現地調査		1	式			2	
維持管理適正化計画策定		1	式			4	
小計							
業務価格							端数
消費税		10	%				
業務委託費							

(予算内訳書番号 2)

現 地 調 査 予 算 内 訳 書

一 金 円 也

但し

名 称	形 状・寸 法	員 数	単 位	単 価	金 額	内訳書番号	摘 要
直接人件費(現地調査)		1	式			3	
小 計							
諸 経 費			%				
業 務 価 格							

(予算内訳書番号 3)

直接人件費（現地調査）

予算内訳書

一金 円也

但し 芽室

名称	形状・寸法	員数	単位	単価	金額	単価番号	摘要
運転設定確認		1	処理区			当9	
設備状態確認		1	処理区			当10	
合計							

(予算内訳書番号 4)

維持管理適正化計画策定

予算内訳書

一金 円也

但し

名称	形状・寸法	員数	単位	単価	金額	内訳書番号	摘要
直接人件費(維持管理適正化計画策定)		1	式			5	
打合せ直接人件費(維持管理適正化計画策定)		1	式			6	
直接経費(維持管理適正化計画策定)		1	式			7	
その他の原価			%				率対象額:直接人件費 経費率($\alpha / (1 - \alpha)$)
業務原価							
一般管理費			%				率対象額:業務原価 経費率($\beta / (1 - \beta)$)
業務価格							

(予算内訳書番号 5)

直接人件費(維持管理適正化計画策定)

予 算 内 訳 書

一金 円也

但し 1地区

名 称	形 状・寸 法	員 数	単 位	単 価	金 額	単価番号	摘 要
省エネ技術等の新技術等の導入の検討		1	処理区			当13	
報告書作成		1	処理区			当15	
合 計							

(予算内訳書番号 6)

打合せ直接人件費(維持管理適正化計画策定)

予算内訳書

一金 円也

但し

名称	形状・寸法	員数	単位	単価	金額	単価番号	摘要
打合せ人件費	技師(A)	3	回			当19	
打合せ人件費	技師(B)	3	回			当20	
合計							

(予算内訳書番号 7)

直接経費(維持管理適正化計画策定)

予算内訳書

一金 円也

但し

名称	形状・寸法	員数	単位	単価	金額	単価番号	摘要
調査計画材料費等(報告書作成含)	成果品部数2部	1	式				
ライトバン運転経費	往復距離 400 km未満	3	回			当16	
		3				当17	
		3				当17	
		3				当18	
		3				当18	
宿泊雑費		3	回			当23	技師(A)
宿泊雑費		3	回			当23	技師(B)
合計							